

(様式1)

平成27年度試験研究課題設定のための要試験研究問題提案・回答書

(整理番号) 150	提案機関名 三浦市農業協同組合
要望問題名 11～3月どり寒玉系キャベツの標準作型・品種組み合わせの選定について	
要望問題の内容 【 背景、内容、対象地域及び規模（面積、数量等） 】 三浦半島のキャベツ作においては、これまで品種‘金系201’を代表とする春キャベツおよび年内から年明けの早春系キャベツが地域のブランドイメージを牽引する役割を果たしてきた。しかし、近年、寒玉系と早春系の間間的な春系・サワー系キャベツも一部で取り入れられ、市場においても需要がある。また、4、5月どりの加工需要向けに寒玉系キャベツの共同販売も行われるようになるなど、加工需要への対応は、今後のキャベツ生産・販売においても重要な位置を占めるものと思われる。そのため、年内から年明けに掛け、一貫した寒玉系キャベツの出荷体系を検討する時期に来ているが、愛知県を初め、関西圏の品種をそのまま導入するには品種の早晚性や、土質の違いに対する適応性など不明な点も多く、基本的な情報が不足している。 既存品種のなかから当地における奨励品種と、好適な作型の組み合わせについて、今後の品種選定・普及の基礎となるよう、モデルケースの構築をお願いしたい。 キャベツ作付面積 三浦市 778ha（平成24年産野菜生産出荷統計）	
解決希望年限	①1年以内 <input checked="" type="checkbox"/> ②2～3年以内 ③4～5年以内 ④5～10年以内
対応を希望する研究機関名	<input checked="" type="checkbox"/> ①農業技術センター ②畜産技術センター ③水産技術センター ④自然環境保全センター
備考	

※ ここから下の欄は、回答者が記入してください。

回答機関名	農業技術センター	担当部所	三浦半島地区事務所
対応区分	<input checked="" type="checkbox"/> ①実施 ②実施中 ③継続検討 ④実施済 ⑤調査指導対応 ⑥現地対応 ⑦実施不可		
試験研究課題名	(①、②、④の場合) 寒玉系キャベツの作型・品種の検討		
加工・業務需要の高まりを受け、寒玉系キャベツの周年供給が求められています。抽苔等の問題からこれまで寒玉系キャベツの端境期になってきた4～5月どり作型については試験研究を実施してきましたが、作期拡大の観点から、ご要望にある11月～3月どり作型についても品種選定および高品質・安定生産技術の検討を行います。			
解決予定年限	①1年以内 <input checked="" type="checkbox"/> ②2～3年以内 ③4～5年以内 ④5～10年以内		
備考			